

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

| | |
|--|--|
| 産業廃棄物処理計画書 | |
| 2024年 6月 17日 | |
| 山口県知事 様 | |
| 提出者 日本パレットレンタル株式会社 住所 東京都千代田区大手町1-1-3 氏名 代表取締役 二村篤志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-6895-5200 | |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。 | |

| | |
|---------|----------------------|
| 事業場の名称 | 日本パレットレンタル株式会社 宇部デポ |
| 事業場の所在地 | 山口県宇部市矢矯大坪寺田 |
| 計画期間 | 2024年4月1日～2025年3月31日 |

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ①事業の種類 | 70 物品賃貸業 |
| ②事業の規模 | 取扱量：68万枚（入出庫枚数） |
| ③従業員数 | 4人 |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | |

(日本産業規格 A列4番)

| 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | | |
|---|--|--------|----------|
| (管理体制図) | | | |
| <pre>graph TD; A[ロジスティクス部 生産管理グループ] --- B[デポ (事業場) 廃棄物管理責任者]; A --- C[デポ (事業場) 廃棄物管理責任者]; A --- D[デポ (事業場) 廃棄物管理責任者];</pre> | | | |
| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度 (2023年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 排 出 量 | 1356 t | 0.308 t |
| | (これまでに実施した取組) ・ 廃木製パレットは、使用できる部材を解体利用できるよう、選別している。 ・ 破損している木製パレットは、破損箇所を補修材に張替え再生している。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 排 出 量 | 840 t | 0.5 t |
| | (今後実施する予定の取組) プラスチックパレット化が進み、余剰となった木製パレットは計画的な売却、廃棄を実施し、ひと段落したので、今後は通常の選別により排出される量とする。 | | |
| 産業廃棄物の分別に関する事項 | | | |
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラスチック類、金属くず等、それぞれに分別のうえ保管している。 | | |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし | | |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|----------------------|----------------------|-----|----------|
| ① 現状 | 【前年度（ 2023年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（ 2023年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|---|--------|----------|
| ① 現状 | 【前年度（ 2023年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（ 2023年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 全処理委託量 | 1356 t | 0.308 t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 1356 t | 0.308 t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の処理を委託できる許可取得済み業者と書面による契約を行なっている。 ・可能な限り再生利用業者（優良）への処理委託を行っている。 | | |

| | | | |
|--------|---|-------|----------|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 木くず | 廃プラスチック類 |
| | 全処理委託量 | 840 t | 0.5 t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | 840 t | 0.5 t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) ・年1回の廃棄物処分場の現地視察を行う。 ・電子マニフェストの利用を推進する。 | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。